

## 師走の行事第3弾 お茶会い～

今日は年長児のみが経験するお茶会です。

堺は千利休が茶道を始めた発祥の地とされています。わびさびの世界は奥深く全てを触れるまでには至りませんが、堺の地に住み、日本の伝統文化に触れ少しでも興味・関心の発端になればと思います。

日常、正座をすることも少なくなっている昨今です。

部屋の中に簡易の畳を敷き静かに歩き自分の位置に座ります。気持ちを落ち着かせお辞儀、背筋を伸ばして待つ。

お菓子（生菓子）山茶花・紅椿と美しく作られている和菓子を見て頂く。のですが、この経験は、興味関心は高まりましたが、「こんなん初めて食べる」「一口大に切って食べる？」のは中々難しかったようです。「綺麗なお菓子」「甘くて美味しい！」とそれぞれに感想を述べていました。次はいよいよ、お抹茶を頂くのですが、なぜか「苦い？」という観念がありました。お家で聞いてきたのかな？でも子ども達は、お作法はともあれ「美味しい」と言って、お茶は最後まで飲み干していました。あっぱれ！もしかして「通！？」最後に正座してのお礼の仕方や立礼の仕方等の話をしました。野点・茶道の一式のお道具を出して、お琴の音色の中で、一瞬の間に“利晶の杜”

（堺には仁徳天皇陵古墳をはじめ長い歴史の中で継承されてきた数多くの歴史文化資源があります。堺ゆかりの人物の千利休と与謝野晶子をテーマに広く発信する文化施設）かと思う雰囲気もしっかり感じてもらえたかな？

今日は、「心が落ち着く、気持ちを揃える。」という事が子ども達の心に少しでも残ればお茶会のねらいは達成です。毎日、慌しく過ごす日々“心が落ち着く、気持ちを揃える時間”は大人も大切にしたいと思う一日となりました。

準備、片づけをして頂いた先生方、有難うございました。

